

授業のヒント



みなさんは、授業で OHP (overhead projector) を使っていますか。今回は OHP のシートだけを使う漢字のゲームを紹介します。



なまえ どれとがさねる？

目的・教えること
習った漢字をゲームで復習する。 ひとつの漢字が、部首など単位となる部分の組み合わせであることに気づく。
学習者のタイプ
漢字を使わない国の学習者。 漢字を100字から500字くらい学習した初級者。
クラスのタイプ
20人以内のクラスがいい (教室が大きいときは OHP シートを大きくする)。
準備するもの
OHP シート、または透明な (transparent) ビニールシート。 マグネット。 マグネットの使えるホワイトボード (黒板の場合は大きな白い紙をはる)。

方法

●準備
習った漢字の中から同じ部分を持つ漢字のグループを選びます。学習者ふたりでゲームをする場合は2グループ考えます。3人ならば3グループです。
今回は例として「木」と「亻」を使ってみました。

例：Aグループ「橋・林・校」
Bグループ「洋・酒・泳」

OHP シートに図1のように漢字を部分に分けて書いてください。

シートのどこに書くか、よく注意します。たとえば、(a₀)と(a₁)を重ねても、(a₀)と(a₃)を重ねても、ひとつの字に見えるように書いてください。

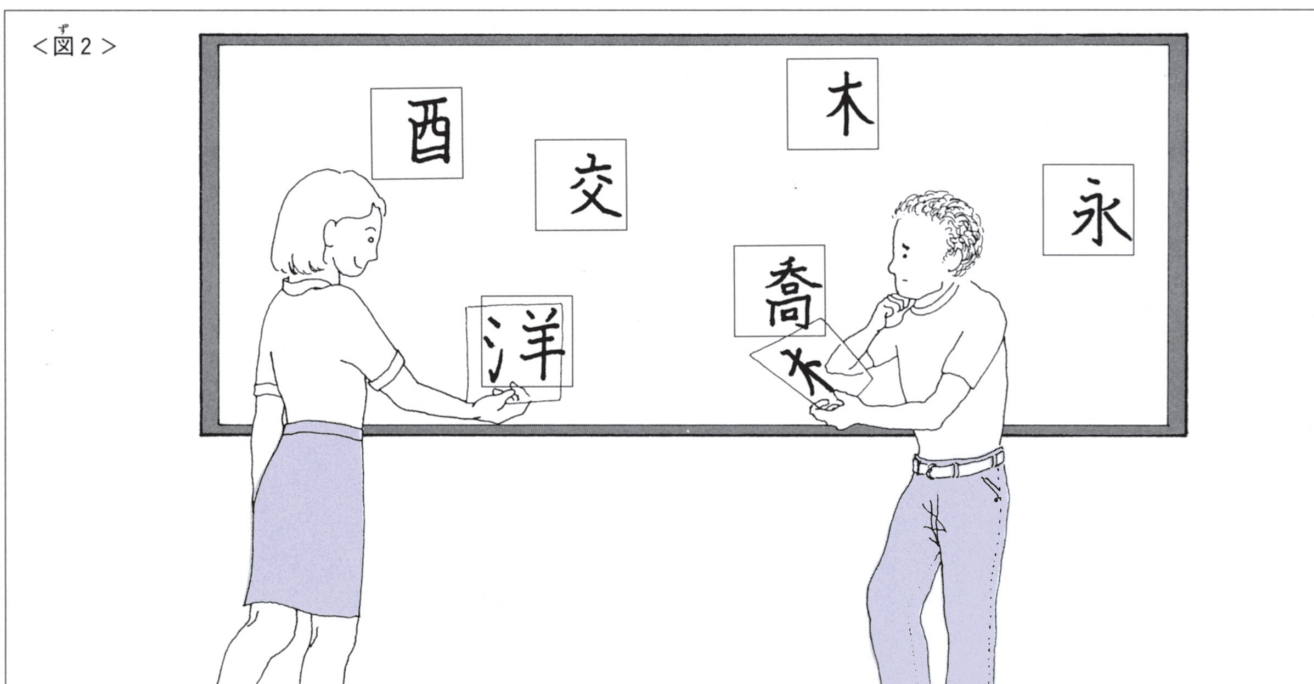
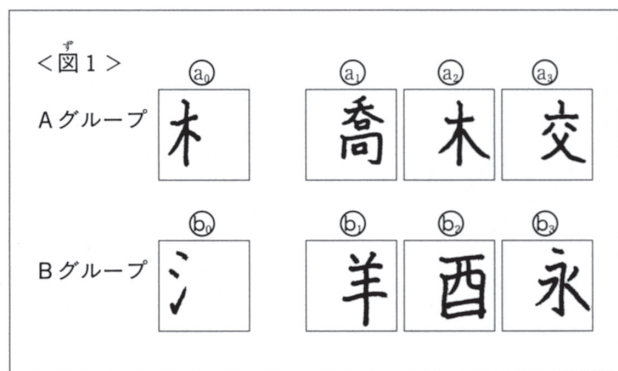


図3 漢字の部分のいろいろな組み合わせ：わかりやすい例



●教室で

漢字のOHPシートのうち(a₁)、(a₂)、(a₃)、(b₁)、(b₂)、(b₃)をホワイトボードにはります。ゲームをするふたり(XとY)はホワイトボードのところへ来ます。XはOHPシート(a₀)を、Yは(b₀)を持ちます。

先生が「はじめてください」といったら、持っているシートとホワイトボードのシートを重ねて、漢字を作ります。そして、「はし」とか「ようふくの『よう』」のように、その漢字の読み方をほかの学習者に読んで聞かせます。

作った漢字と読み方があるならばそのシートをホワイトボードから取ってください。

早く自分のグループの漢字をぜんぶ作った人が勝ちます。

応用

学習した漢字の部分だけを書いたOHPシートをたくさん用意します(図3を参考にしてください)。これらの

シートを全部ホワイトボードにはります。先生が「はじめてください」といったらゲームをする人は、いろいろなシートを重ねてみます。知っている漢字ができれば、その読み方をいって、先生やほかの学習者にも確かめてもらいます。漢字を早くたくさん作った人が勝ちます。

同じゲームをつくえの上で2~3人ですることもできます。

2枚のシートを組み合わせてゲームする時、ひとつの字を右と左に分ける方法のほかにも、字によっていろいろな分け方があります。漢字の教科書や漢字の辞書で、わかりやすい組み合わせをしらべてみてください。

今回使った漢字のシートは、毎日の授業で漢字を教える時に少しずつ用意しておく、習った漢字をまとめて復習する時に、いろいろな使い方ができると思います。

執筆：彭国躍、荒川みどり（日本語国際センター日本語教育専門員）

漢字を使わない国の学習者には、いろいろな形の漢字はめずらしくて、おもしろいものです。しかし、だんだん漢字の数が増え、覚えられなくなっていくやることがあります。漢字の形を覚えやすくする方法を学習者が自分で見つけられるように、ときどき今回のようなゲームを使って復習してみてもどうでしょうか。このコーナーの担当：荒川みどり